

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
394	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名 (原題/訳)</b>	
Alcohol intake and pancreatic cancer: a pooled analysis from the pancreatic cancer cohort consortium (PanScan) 飲酒と膵癌：膵癌コホート協会(PanScan)からのプールデータ分析	
<b>執筆者</b>	
Michaud DS, Vrieling A, Jiao L, Mendelsohn JB, Steplowski E, Lynch SM, et al.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b>	
Cancer Causes Control. 2010;21:1213-25.	
<b>キーワード</b>	
アルコール、膵癌、プールデータ分析	
<b>要 旨</b>	
<b>目的：</b> 少中等量の飲酒と膵癌の関連はないことは文献より一致した報告がなされているが、多量飲酒はリスクを増加させる可能性がいくつかの研究から示されている。大部分の単一研究では、多量飲酒との関連を評価することでさえ、またアルコールの種類による分析についても、検出力に限りがある。この問題を解決するため、本研究では、膵癌コホート協会の12の前向きコホート研究を用いて、コホート内症例対照研究を行った。	
<b>方法：</b> コホート内症例対照研究より、1530例の膵癌症例と1530例の対照例の関連について分析を行った。潜在する交絡因子を調整し、ロジスティック回帰分析を用いてオッズ比 OR および95%信頼区間 CI を算出した。	
<b>結果：</b> 総アルコール（エタノール）量と膵癌リスクの間には有意な関連は認めなかった（OR 1.38、95%CI 0.86-2.23、1日60g以上の飲酒と1日0-5gの飲酒との比較）。男性の飲酒者では、1日45g以上のリキュール類の飲酒は、統計学的に有意にリスクを増加させた（OR 2.23、95%CI 1.02-4.87、リキュール類の飲酒が1日0gと比較して、傾向P 0.12）が、女性では認めなかった（OR 1.35、95%CI 0.63-2.87、1日30g以上のリキュール類の飲酒を1日0gと比較して）。またワイン、ビールの飲酒については、関連を認めなかった。	
<b>結論：</b> 飲酒による膵癌リスクの有意な増加を認めなかったが、多量飲酒者については小さなリスクを除外することはできない。	